
ハッキリと

華泥棒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハッキリと

【Nコード】

N0575B

【作者名】

華泥棒

【あらすじ】

月・季節・気温・・・なんでも。何か見ると必ず何かを思い出してしまふ。あの人とのことを。

なぜ この国は・・・こんなにもハッキリしているのだろうか？

四季も 天気も 月の形も 気温も

何もかも どうしてハッキリしているの・・・？

「・・・満月」

大学の研究室の窓から見える満月。

「何？満月好きなの？」

同じ研究をしてる友達が言う。

「・・・うつん ちよっとね」

満月を見るたび思い出す

あの人のこと

『お前といると安心する 大好きだよ』

子供の頃から 言われたかったんだ

『一緒にいると安心する』

『大好き』

大事な人から 言われたかったんだ。

それなのに・・・

別れてしまった。

もう ずっと限界で

最後 何かが切れちゃった

つなぎとめておきたくて ずっと無理してたけど・・・

結局 手をはなしたのは私のほうだったのかもしれない。

満月は人を惑わすというけれど

満月のした ささやかれたあの言葉は あの人が惑わされたの？

それとも 先に私が惑わされていたの？

わからないよ・・・

なんで1年間一緒にいてしまったんだらう？

春になるたび 夏になるたび 秋になるたび 冬になるたび

寒くなるたび 暑くなるたび

雨がふるたび 晴れるたび

思い出してしまう

あの人との 思い出を。

だけどあの人はもうそばになくて

「・・・ハア」

ため息が漏れる。

どうして こんなにもこの国はハッキリしてしまってるの？

なにもかも ハッキリしてる。

だから 思い出も ハッキリと鮮明に思い出されてしまう

だけど 戻らないものはあるから

だから 上手に過去に変えていかな行きやいけないらしい。

みんな そうして生きてる

私に 同じようにできるのだろうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0575b/>

ハッキリと

2010年12月13日19時11分発行